

平成 30 年秋期 ネットワークスペシャリスト試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2018,12,21

10 月 21 日 (日) に行われた平成 30 年秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データの分析をもとに、ネットワークスペシャリスト試験の合格発表コメントをお知らせします。

■ネットワークスペシャリスト試験 (NW)

[平成 30 年秋期のネットワークスペシャリスト試験 統計情報]

応募者	18,922 人
受験者	12,322 人
合格者	1,893 人
合格率	15.4%

平成 30 年秋期のネットワークスペシャリスト試験の合格率は 15.4%で、前回の 13.6%に対して少し増加しました。

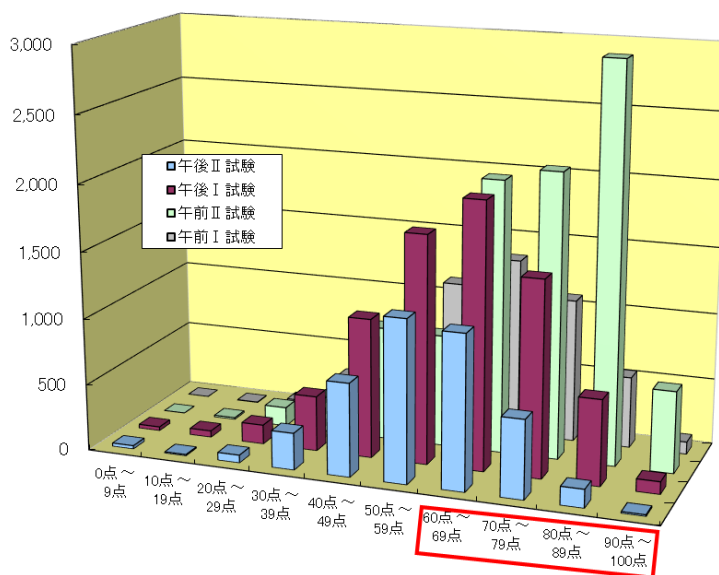
次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[平成 30 年秋 ネットワークスペシャリスト試験 スコア分布]

得点	午前 I 試験	午前 II 試験	午後 I 試験	午後 II 試験	合格者
0 点 ~ 9 点	0	1	29	25	
10 点 ~ 19 点	3	13	49	10	
20 点 ~ 29 点	61	144	146	59	
30 点 ~ 39 点	302	265	416	278	
40 点 ~ 49 点	707	855	1,048	701	
50 点 ~ 59 点	1,123	843	1,711	1,216	
60 点 ~ 69 点	1,345	2,042	1,992	1,155	
70 点 ~ 79 点	1,080	2,134	1,467	588	
80 点 ~ 89 点	538	2,955	643	138	
90 点 ~ 100 点	93	615	94	12	
計	5,252	9,867	7,595	4,182	1,893
対前試験比率		187.9%	77.0%	55.1%	45.3%
午前 I 免除者 (概数)	7,070	57.4%			

合格者数	1,893	採点者数の割合	合格者数との差
午前 I 60 点以上合計	3,056	58.2%	1,163
午前 II 60 点以上合計	7,746	78.5%	5,853
午後 I 60 点以上合計	4,196	55.2%	2,303
午後 II 60 点以上合計	1,893	45.3%	0

平成30年秋 ネットワークスペシャリスト試験 得点分布



午前I試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前I試験の免除者は概算で7,070人(57.4%)おり、過半数の受験者の人が午前IIからの受験となりました。ほぼこの比率で最近は推移しています。

次に午前I試験で基準点(60点)以上の人は3,056人(受験者の58.2%)で、前回の54.4%から増加しました。問題自体は前回と同じで少し難しかったといえます。

午前II試験で基準点以上の人は7,746人(受験者の78.5%)となっており、前回の70.1%から増加しています。問題も前回と比べて少し易しかったといえます。

午後Iで基準点(60点)以上取れた人は55.2%で、前回の51.4%から増加しています。

午後IIで基準点(60点)以上取れた人は45.3%で、こちらは前回の48.2%から減少しました。

■平成30年秋期 ネットワークスペシャリスト試験 出題内容について

(午前I試験(高度試験の共通知識問題))

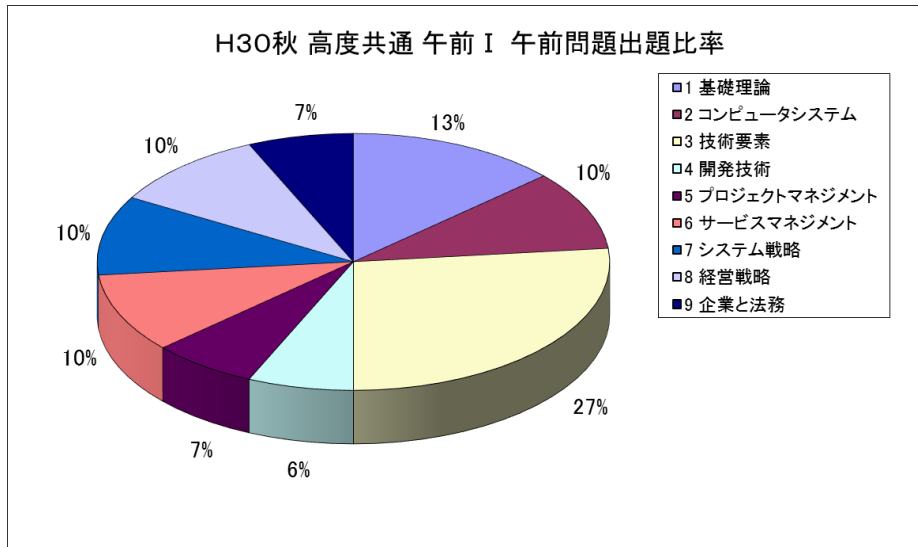
- ・高度試験に共通して出される問題30問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験(AP)から選ばれています。今回の問題内容は、文章問題は15問(前回18問から減)、用語問題は6問(前回4問から増)、計算問題が5問(前回7問から減)、考察問題が4問(前回1問から増)でした。これらは毎回増減があるので、特に大きな変化はなかったといえます。
- ・これまで出題範囲からまんべんなく問題が出されていましたが、今回初めて「システム構成要素」の出題がありませんでした。代わりに基礎理論からの出題がこれまでより増えました。
- ・過去問題が約7割ありましたが、解答しづらい問題が多く、全体として少し難しい出題内容だったといえます。
- ・重点的に出題されるセキュリティ分野の出題数は前回と同じ4問でした。
- ・新傾向問題は次の2問で、これまで平均的に4~5問あった中では少なかったといえます。

(新傾向問題)

問25 システム化構想の立案プロセスで行うべきこと

問27 IoTがもたらす効果の“自律化”の段階

平成 30 年秋期の高度試験共通 午前 I 問題出題比率



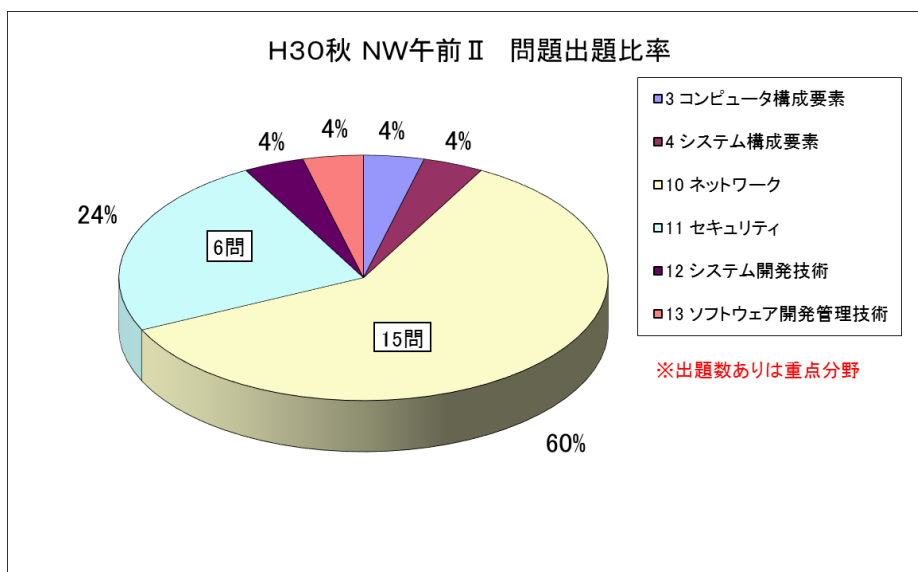
(午前 II 試験 (専門知識問題))

午前 II 試験で、ネットワークとセキュリティの専門知識の出題数は 15 問と 6 問の合計 21 問で、前回と同じでした。過去問題は全体の約 6 割を占めていますが、ネットワークスペシャリスト試験の過去問は 10 問で他の高度試験に比べるとやや少ないといえます。

新傾向問題は次の 6 問で前回の 8 問から減っています。専門のネットワーク分野からの出題が減り、全体に前回よりも少し易しかったといえます。

- 問 4 イーサネットパケットの MTU
- 問 9 LDAP の説明
- 問 12 2.4GHz 帯の周波数を使用しない無線通信の規格
- 問 15 WebSocket の説明
- 問 18 https で行うように指示する HTTP レスポンスヘッダ
- 問 22 NIC チューニングの説明

平成 30 年秋期のネットワークスペシャリスト試験 午前 II 問題出題比率



〔午後Ⅰ試験〕

・午後Ⅰ問題の出題テーマと設問概要は、次のとおりです。全体にネットワーク技術を問う内容になっていて、前回のセキュリティに重点を置いた出題内容から変わったといえます。全体の難易度は前回と同じ程度といえます。

問1 SaaSの導入(中堅商社) 普通

SaaS導入のセキュリティ対策, SaaSの試用, SD-WANルータの導入, ルータ仕様, 通信・運用方法, アクセスログの取得, HTTPSアクセス, マルウェア対策, ルータの静的経路情報

問2 ネットワーク監視の改善(流通業者) やや易

LANの運用・死活・異常検知の監視, 監視サーバの概要, ping監視, 障害発生時の状況確認, ネットワーク監視の改善策の立案, 設定するVLAN ID, STP, VRRP, SNMPエージェント

問3 企業ネットワーク再構築(出版会社) 普通

WAN構成の検討, 見直し方針案, IP-VPNとIPsecの概要, 冗長化ルーティングの検討, 拠点の追加, IPトンネル接続追加の検討, ルータが受信する経路情報, 経路の選択, OSPFの設定

〔午後Ⅱ試験〕

・午後Ⅱ問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。問2のSDNは平成29年の午後Ⅱ問題と同内容で過去問を解いて理解していれば得点しやすいといえます。例年に比べて全体に設問数が少ないですが、難易度は前回と同じ程度といえます。

問1 ネットワークシステムの設計(機械メーカー) 普通

販売機械の運用保守, 工場の自動化支援, セキュリティ対策, MQTTによるメッセージ交換, 通信シーケンス, QoSレベル, APIアクセス, 顧客サーバ管理, エッジサーバ活用, NATルータ

問2 サービス基盤の構築(データセンタ運営, ホスティングサービス提供会社) 普通

サービス基盤の構築, マルチテナント方式のIaaS, サーバ仮想化, 従来方式, VLAN, 仮想FW, SDN方式, OpenFlow, フローテーブル, 方式の比較, 技術習得目的の制御方式, テストシステム, パケット転送処理手順

